

を開始します。



しぶさわえいち
渋沢栄一 (1840~1931)
▶ 生涯に約500もの企業の設立に関与。
▶ 実業界で活躍。
▶ 教育・社会事業・民間外交にも尽力。

つだうめこ
津田梅子 (1864~1929)
▶ 岩倉使節団に同行した最初的女子留学生の一人。
▶ 女子英学塾(現:津田塾大学)を創立。
▶ 近代的な女子高等教育の発展に尽力。



きたさとしばさぶろう
北里柴三郎 (1853~1931)
▶ 世界で初めて破傷風菌の純粋培養に成功し、破傷風血清療法を確立。
▶ ペスト菌を発見。
▶ 私立伝染病研究所、私立北里研究所を創立し、後進の育成にも尽力。



2024年7月前半、
新しいお札の発行



現在有効なそのお札は
日本銀行ホームページで確認できます。



日本銀行ホームページ
銀行券 / 国庫・国債
↳ 銀行券・貨幣
↳ 日本のお金



日本銀行ホームページ
銀行券 / 国庫・国債
↳ 銀行券・貨幣
↳ 改刷・改铸



これまで発行したお札も
引き続き有効です。



新しいお札のこころに注目！

1 新しい偽造防止技術。



3Dホログラム(世界初)

傾けると、三次元の肖像が回転します。



高精細すき入れ(すかし)(世界初)

従来からの肖像のすかしに加え、背景に高精細なすき入れが入っています。

2 ユニバーサルデザイン。 -どなたにも分かりやすく-

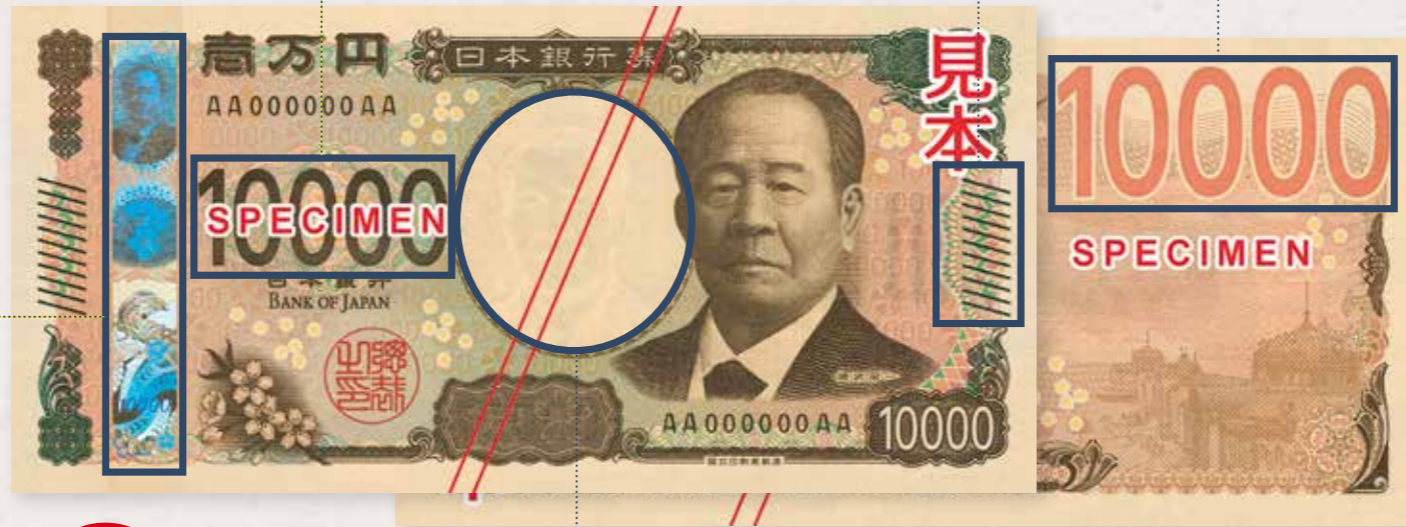
額面数字の大型化

額面数字(アラビア数字)を大型化して、券種を識別しやすくしています。



識別マーク

指で触って券種の識別ができるマーク。触って分かりやすい形状で、券種毎に異なる位置に配置しています。



3 独特な手触り。

深凹版印刷

インキを高く盛り上げる印刷技術。肖像や額面数字、識別マークなどに使われており、触るとざらざらしています。



お札の用紙

みつまた、アバカ(マニラ麻)などを原料に、伝統的な和紙作りの技法を応用して製造しています。

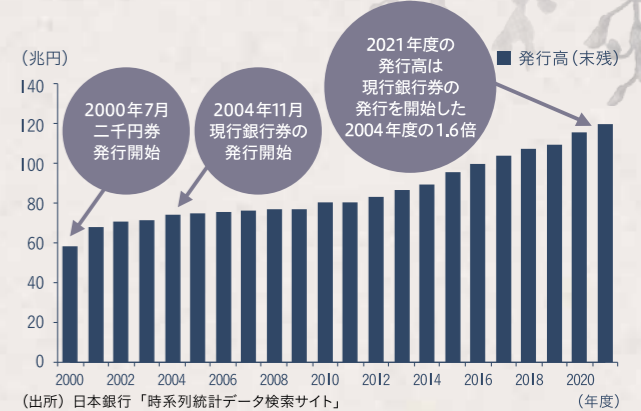


◀みつまた ▲紙すきの工程

なぜ、お札が新しくなるのか

お札の発行高は増加中

決済のキャッシュレス化が進展するもとも、お札の需要は根強く、お札の発行高は年々増加しています。



安心してお札を使えるように

万が一偽造されたお札が出回れば、安心してお札を使えなくなります。そうしたことを防ぐため、新たな偽造防止技術を追加し、偽造をしにくくしています。また、どなたにも分かりやすいデザインに見直しています。

お札の変遷(1984年-)

(発行開始)

1984年



2000年



2004年

